



大切な毎日



みう

恋の前日

ある日のことでした・・・

ひかり「あーあー なんか面白い事起きないかなー。

毎日が暇でしょうがないよ～！」

みらい「そんなこと思うから、起きないんじゃないの～？」

ひかり「そんなはずないっ！多分・・・（笑）」

っと二人で話しながら帰っていました。

すると ひかりが、

ひかり「これから、夏休みだし

どっかお泊りに行こうよっ！」

みらい「いいねえー!!行こう！行こう！」

っとひかりのひらめきでお泊りに行くことになりました。

ひかり「何日が空いてるうー？」

みらい「私、今年はどこも行かないから

いつも暇人でーす！（笑）」

ひかり「私も暇人でーす！（笑）」

なら！もう全部行っちゃえー！

明日からね？」

みらい「了解!!

夏休みは長くて嬉しいねえ～♪」

ひかり「そうだねえ～！

お泊り中に、プール行っちゃう？」

みらい「行きたいいいい!!」

っとお泊りの話で盛り上がっていました。

あっという間に次の日になりました。

ひかり「ちょっと早すぎちゃったや°。」

ひかりは1時に待ち合わせのはずが

30分前にきてしまったのです。

ひかり「早く来ると暇だな～！」

っと思りながら言っていると・・・

? 「ねえ、君！」

ひかり「ん? あ、は、はいっ!!」

っといきなり話しかけられたので

ひかりはびっくりしました。

? 「この辺に、ニットみたいなものかぶってた人見なかった？」

ひかり「い、、いえ！見てませんでしたよ。」

? 「そうかあー。

ならすれ違うと大変だから

ここで待たせてもらうね！」

ひかり「え！あ、はい！どうぞ！」

？「ありがとう！君の名前は？」

ひかり「え、、あ、、ひかりといいます！」

あの・・・お名前は・・・？」

？「僕はしゅうだよ！」

みらい「ひかりいー!!

ごめん°。遅れた～？」

ひかり「ううん！遅れてないよ？」

私が早く来ちゃっただけ（笑）」

みらい「そうなんだ！」

なら、そろそろ行こうか！」

ひかり「うん！行こう！」

あ、、ではまた！」

しゅう「またね！」

って言って旅行へ行ったのでした。

ひかりとみらいが電車に乗ると

みらいが、、、、

みらい「ねえねえ！さっきの人って誰？」

っと聞いてきました。

すると、ひかりは

ひかり「別に教えなくてもいいでしょ～？」

っと内緒にしました。

みたい「ええー！ずーるーいー°。

私もあんなカッコイイ人と話してみたいな～♡」

ひかり「そんなの女の子の憧れじゃん？」

みらい「そうだよね°。難しいよね・・・」

ひかり「そう、そう、悲しいもんだよね°。

カッコイイ人がいても話せないなんて。」

みらい「うん。。

一回だけでも、告白されてみたいかも！」

ひかり「あぁー！わかるうー！

ちょうど好きだった人から告白されたいよねえ～。」

みらい「だよねえ～。女の子って悲しいわ。。」

っと恋の話になりました。

恋の話にハマって話していると

もう、場所に到着していました。

みらい「あ！早くおらないと！」

ひかり「早く早くう～！」

っと電車から下りると、

あたりはもう夜になってしまいました。

ひかり「もう夜?!

時間ってすぎるの早いねえ～！」

みらい「そうだね（笑）」

歩いて、旅館につきました。

お風呂やご飯を食べて

2時間後・・・・・・・・

ひかり「そろそろ、寝るよ～？」

みらい「了解！」

ひかり「電気消すよー？」

みらい「いいよおー！」

カチカチ・・・

二人が寝静まった後、何か音が聞こえてきました。

みらい「ねえ、ひかり、なんか音が聞こえない？」

ひかり「う～？何？音？」

みらい「うん。気になるから、ちょっとついてきてよ！」

ひかり「ええー°。怖いじゃん°。」

みらい「大丈夫だって！行こう！」

　　と言って、みらいはひかりの手をとって

音が聞こえる部屋まで行きました。

ひかり「みらいい〜°。」

　　怖いよお〜°。戻ろう？（涙）」

みらい「い、、嫌よ！だってなんか気になるじゃん！

　　さあ！入ってみるよ！」

ひかり「ええー°。怖いい〜！」

　　とひかりが、怖がっているにも関わらず

みらいはドアをそーっと開けました。

するとみらいは息をのみました。

ゴクン・・・・

　　一歩ずつ、、一歩ずつ、、

前に進むたびに音が近づいてきます。

ひかりの震えも、だんだん早くなってきていました。

そしてみらいがもう一つのドアを開くと・・・!!!

そこには、先ほどひかりと仲良くなった

しゅうと知らない人がいたのです！

ひかり「え・・・？」

しゅう「あ！ひかりちゃん！偶然だねー!!
会えて嬉しいよ～♪」

?「おい、しゅう、そっちの問題じゃないだろ（笑）
なぜ、ここにこんな夜遅くに部屋に入ってきたかの問題だよ！」

みらい「あ、変な音が聞こえたので気になって・・・。
それに怖かったのでノックするの忘れちゃいました°。」

しゅう「そういうことなら、別にいいでしょ！
それに、この音のおかげで会えたじゃんか！」

?「まあ・・・。それもそうだな！
あ、あと俺の名前は、さとるっていいます！
よろしくなっ！」

ひかり「はい！私はひかりっていいます！」

みらい「私はみらいっていいます！」

しゅう「ひかりちゃんと、さとるは知ってるけどみらいちゃんは知らないよね？
俺の名前は、しゅうっていいます！
よろしくね!!!」

四人は自己紹介をしました。

ひかり「とりあえず、夜遅いのもう寝ますね！」

しゅう「わかった！また明日ね！おやすみ～」

ひかり・みらい「おやすみなさい！」

って言って一日を終えました。

そして次の日・・・・

しゅう「おっはよ～！」

ひかり「おはよ～！」

さとり「ねえ、今日俺たちと一緒に遊びに行かない？」

ひかり「いいですよ！」

さとり「なら、ご飯食べてから
一階の玄関で待ち合わせね！」

ひかり「わかりました！では、また！」

しゅう「あとでねえ～！」

みらい「ひかりはいいよね～。
私なんて全然話せない。。」

ひかり「自分から話そうとしてないからでしょ？」

みらい「だって最初だから話しにくいんだもん。。」

ひかり「まあ～ゆっくり話していけば仲良く出来るよ！
さっ！ご飯食べよっ！」

みらい「うん。そうだね！」

30分後・・・・

みらい「美味しかったねえー！」

ひかり「うん!!めちゃくちゃ美味しかった～♪」

しゅう「おーい!!」

ひかり「あ！しゅうくん！」

さとる「そろったところで！行こうか！」

ひかり「行こう！行こう!!」

　　と言って旅館を後にしました。

みらい「今日ってどこに遊びに行くの？」

しゅう「公園とか、ゲーセンとか？」

ひかり「おー！楽しそう!!」

さとる「せっかくの夏休みだから今度、
海とか、プールとか行くか？」

ひかり「行く！行くう～！」

みらい「行きた～い！」

さとる「おう！予定立てておくよ！」

しゅう「あ！ここ行かない？」

ひかり「小物ショップ？
なんか、可愛らしいお店だね！」

さとる「確かに、俺たち入りにくくね？」

しゅう「俺たちは彼氏のフリしてればいいんだよ！いいよね？」

ひかり「うん。いいよ～（照）」

みらい「私もO-K-！（照）」

さとる「なら俺ひかりちゃんとな！」

ひかり「うん！わかった～！」

しゅう「なら、俺はみらいちゃんとだな！宜しくね！」

みらい「うん。よろしくね！」

さとる「それじゃあ！行こうか！」

ひかり「おお～！」

　　と言って2人1組で

　　お店の中へ入っていったのでした。

-----続く-----